

「地域医療のあり方検討会」意見まとめ

資料6

平成20年 6月10日
地域医療のあり方検討会
会長 佐藤 定行

平成18年6月、県から「魚沼基幹病院（仮称）設置と周辺病院再編のフレームについて（案）」が示された。これを受けて、地元では「地域医療のあり方検討会」を組織し、これからの松代病院が地域に根ざした医療の継続とさらなる充実を図るため、3回にわたり松代病院の現状の把握と検討を重ねた。その中で委員の皆様から出た意見を取りまとめました。

1 「松代地域医療センター病院」構想

布施前松代病院長が描いた構想であり、この内容を中心に意見交換を行った。

- (1) 身近で外来診療が受けられること。
かかりつけ医としての外来・一次救急
外来検査・二次検診
専門外来
訪問診療、訪問看護
- (2) 安心して入院できる病棟（ベッド）があること。
一次救急・軽症入院
療養回復のためのベッド
福祉支援のためのベッド
看取りのためのベッド
- (3) 医療と福祉・保健の連携があること。
在宅医療センター併設
退院調整 訪問診察 訪問看護 リハビリ機能
介護保険施設支援
学校保健・産業保健
健康増進活動

* 看取り意識調査では42.2%のご自身が、病院で最期まで療養したいとしている。
また、ご家族も46.4%が病院で最期まで療養させたいとしている。

2 委員からの意見

(1) 「身近で外来診療が受けられること」について

現状：2006年の地域外来診療は松代病院が64%、松之山診療所32%、室野診療所4%となっている。
訪問診療は同年松代病院が563回（58%）、松之山診療所が402回42%であった。松代病院外来と松之山診療所で当地区の外来・訪問医療の全てを提供している。

プライマリケア等（1）にあがっている機能は維持してほしい。
在宅医療、訪問診察は予約をして来ていただいているが、緊急時に来ていただける体制ができるようにしていただきたい。
夜間、休日も安心して、一次救急の対応ができる体制づくりをすすめてほしい。
訪問診療のできる医師を確保してほしい。
他に病院が無いので一次医療はどうしても確保していただきたい。
訪問診療、訪問看護に力を入れていただきたい。

(2) 安心して入院できる病棟(ベッド)があること

現状：2006年は年間860人の入院を受け入れた。病床利用率は概ね90%程度で推移している、平均在院日数21～22日になっているが、約52%は2週間以内で退院し、80%は1か月以内で退院している。入院患者の平均年齢は74歳である。

地域の望みとしてはベッド数、医師の数、職員についても現状維持をお願いしたい。
緊急用ベッド、介護用ベッドを確保していただきたい。
55床のうち40床が今の形、15床分を福祉と看取りにしてほしい。
看取りベッドは是非必要である。

(3) 医療と福祉・保健の連携があること

現状：松代病院医師が地域住民の主たる介護主治医となっている。圏域内には多くの介護保険施設があり、これらの協力病院として日常の健康管理、医療必要時の受け入れを担っている。
毎月第二金曜日に「地域連絡会」を開き毎回30件前後の検討を行っている。
本会は地域内の保健、医療、福祉連携の最も重要な会であり、将来の保健・福祉連携の基盤になる組織である。

老健施設、特養施設との連携、訪問診療、訪問介護をお願いしたい。
「松涛苑」は松代病院が無かったら今の場所にはできなかったと思う。
これからは施設との連携が大切だと思う。

委員の皆さんからは医療の後退は避けていただきたい「現状維持」をお願いしたいという要望が多くあった。

(4) 経営形態について

上記以外に、病院の経営等について意見があった。
地域医療センターが実現できたら住民は安心できる。(同様の意見多く有り)
人口の推移により規模が小さくなることはやむをえない。
分院になった場合、入院するベッドがなくなるか心配だ。
地域医療センター構想を意見として「十日町病院等の医療提供体制に関する検討会」に出していただきたい。
県は表彰もされている優秀な病院をなぜはなすのか。
問題はいつ県立が終わるのか、今は漠然とした話しかできないのではないか。
公設民営となると先が見えてこないのが不安である。
地域医療センター構想を市はどれだけ肩入れしていただけるのか。
民間にかわった場合、県の補助はあるのか。
民営になったら我々の意見が通らなくなるのが不安である。
分院の機能と医療センターの機能がどのように食い違っているのか分からない。

(5) その他

病院がなくなったらどうなるか、子どもたちは戻らないし過疎はすすむ。親としても戻ってこいとはいえない。最低でも現状維持をお願いしたい。
松代病院はおら達の病院です。ぜひ残してほしい。
地域医療の案は十日町の検討会に出して通るものでしょうか。
将来、経営者が変わっても財政補填と医者確保をお願いしたい。
患者送迎用のバスをこれから考えていただきたい。

地域医療のあり方検討会では、経営形態及び病床数、病床内容などは別として、現状の病院機能を残してもらいたいとの意見がおおかたであった。病院機能の後退や病院がなくなるということについては、たいへん不安を抱いている。